

令和3年度決算報告

豊橋市の財政状況をお知らせします

令和3年度に納められた税金などが、どのように使われたかをお知らせします。

収入と支出（一般会計）

令和3年度の収入は1,495億861万円、支出は1,434億9,539万円となり、収支は60億1,322万円の黒字となりました。

市民1人当たり換算すると...

収入

40.3 万円

支出

38.7 万円

市税 (市に納められる税金) **17.3** 万円

国や県から
交付されるお金 **16.7** 万円

市債 (借入金) **2.8** 万円

その他 **3.5** 万円

民生費 (子どもや高齢者などの支援に使うお金) **16.7** 万円

教育費 (学校教育や生涯学習などに使うお金) **5.5** 万円

衛生費 (保健事業やごみ処理などに使うお金) **4.7** 万円

土木費 (道路や市営住宅、公園などの整備に使うお金) **3.9** 万円

総務費 (防災や広報、選挙などに使うお金) **2.9** 万円

公債費 (借入金の返済に使うお金) **2.4** 万円

その他 **2.6** 万円

問合せ

財政課 (☎51・2117)

HP

20033



令和3年度

人事行政の運営状況などを公表しました

令和3年度の市職員の給与、勤務条件、分限・懲戒などの状況を公表しました。報告書は、ホームページや市役所じょうほうひろばで閲覧できます。

■令和3年度と令和4年度の職員数の状況

令和4年度の職員数は、令和3年度から40人増の3,828人です。

■公平委員会の業務の状況

勤務条件に関する措置要求および不利益処分に関する不服申し立てはありませんでした。

問合せ 人事課 (☎51・2050)

HP 8376

特別職の報酬など

区分		支給月額	期末手当
給料	市長	1,091,000円	5,141,336円
	副市長	915,000円	4,311,936円
報酬	議長	716,000円	3,374,150円
	副議長	651,000円	3,067,836円
	議員	585,000円	2,756,812円

職員の平均給料月額・年齢

区分	平均給料	平均年齢
一般行政職	321,577円	39.4歳
労務職	303,363円	43.4歳

[令和4年4月1日時点]

▶▶▶▶▶ 令和3年度に実施した主な事業 ◀◀◀◀◀

新型コロナウイルス感染症対策

ワクチン接種の推進



約 23 億円

対象者の接種時期に合わせ、接種券の発送や接種会場の設営など接種体制を整備し、初回接種（1・2回目）及び追加接種（3回目）を実施しました。

プレミアム付電子商品券 TOYOPayの発行



約 1.2 億円

事業者を支援するため、安全・安心に配慮したキャッシュレス決済の電子商品券を発行し、市内の消費を喚起しました。

子育て世帯への 臨時特別給付金の支給



約 62 億円

市独自の給付金給付事業費 約 5.2 億円

国の子育て世帯への臨時特別給付金に加えて、市独自の「豊橋市子育て世帯への臨時特別給付金」を実施し、18歳以下1人につき、10万円を支給しました。

その他の事業



約 42 億円
施設整備費 総額 約 45 億円

安全・安心な給食を提供する給食センターを整備しました。1日あたり12,000食の調理能力を有し、環境に配慮して省エネ効果の高い設備を採用したほか、災害時も給食調理可能な電力が確保できるよう非常用発電機を備えています。



曙学校給食センターの整備



約 16 億円
施設整備費 総額 約 17 億円

まちなかのにぎわいの創出や、交流・滞在の新たな拠点として、まちなか図書館とまちなか広場がオープンしました。さまざまなイベントや講座、ワークショップなどを開催することで、多くの方がまちなかへ訪れるきっかけとなりました。



まちなか図書館・まちなか広場
オープン



約 1,300 万円

市民病院にドクターカーを配備し、医師などが同乗することで、救急現場での迅速な初期治療や円滑な転院搬送が可能になりました。また、救急外来の患者の症状に合わせて最適な質問を自動生成するAI問診システムを導入し、問診精度の向上と業務の効率化を図りました。



救急医療体制の強化・充実



約 120 万円
軽減額 約 210 万円

子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、国が実施している幼児教育・保育の無償化に加えて、三河地域の市では初めて、独自で低所得世帯第2子の保育料無償化を実施しました。



低所得世帯第2子の
保育料無償化